



平成21年11月13日

各位

会社名 豊商事株式会社  
 代表者の役職名 取締役社長 石黒文博  
 (JASDAQ・コード番号8747)  
 問い合わせ先 常務取締役管理本部長 篠塚幸治  
 電話番号 (03)3667-5211(代表)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間業績と前年同期業績との差異に関するお知らせ

平成22年3月期第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績と平成21年3月期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績の差異

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
平成21年3月期第2四半期 連結累計期間 実績(A)	3,345	388	486	266
平成22年3月期第2四半期 連結累計期間 実績(B)	2,152	△469	△472	△251
増減額 (B-A)	△1,193	△858	△958	△517
増減率 (%)	△35.7	—	—	—
(参考)平成21年3月期実績	5,090	△371	△237	△260

2. 差異が生じた理由

平成22年3月期第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績につきましては、外国為替証拠金取引等が受取手数料では前年同期比106.4%増の740百万円、売買損益では同156.6%増の147百万円と大幅に拡大し、収益部門の主要な柱に育ってきましたが、商品先物取引部門では、依然として流動性の低下等業界環境が改善されず引き続き厳しい状況を受けて受取手数料では前年同期比33.2%減の1,210百万円、売買損益では自己ディーリングが相場に追従できず同98.2%減の19百万円と振るわなかったことから、受取手数料が合計で1,950百万円(同10.2%減)、売買損益が合計で169百万円(同84.9%減)となり、営業収益全体は、その他収益31百万円(同39.7%減)を含めて2,152百万円(同35.7%減)となっております。

これにより、営業損益においては、営業費用は経費の節減化に努めたが、前年同期比11.3%減の2,622百万円計上して、469百万円の損失となりました。

経常損益においては、営業外収益では受取配当金、受取利息などで46百万円(同61.7%減)、営業外費用では為替差損、支払利息などで49百万円(同101.6%増)計上して、472百万円の損失となりました。

四半期純損益においては、特別利益では貸倒引当金戻入額72百万円計上し、特別損失ではリース解約損、投資有価証券売却損などで18百万円計上した結果、251百万円の損失となりました。

以上